

臨床研究へのご協力をお願い

小児脳腫瘍において、世界保健機構(WHO)の診断基準に沿った病理診断は、個々の症例の治療方針の決定には必須です。しかし、小児悪性腫瘍の中で白血病に次いで多く、固形腫瘍のなかでは最も頻度が高いにもかかわらず、成人発症の脳腫瘍に比して症例数が非常に少ないため、いまだ遺伝学的位置づけに乏しいものが多く、WHO 分類においても遺伝子検査の結果を問わない従来の診断名もしくは NOS (nothing otherwise specified)を付記するといった対応をとられているのが現状です。そこで、当センター病理診断科では、適切な治療選択のために必須である小児脳腫瘍の細胞遺伝学的背景を明らかにすることを目的に本研究を実施することになりました。

研究課題名 小児脳腫瘍における遺伝学検査を加えた臨床病理学的検討

研究の目的 小児脳腫瘍の適切な治療選択のために必須である小児脳腫瘍の細胞遺伝学的背景を明らかにする。

研究に利用する情報の項目 臨床情報（腫瘍採取時年齢、性別、発症部位、予後）、組織診断

研究対象の範囲 1970年（当センター開設時）より2019年の間に当センターで生検もしくは手術で採取され当科で診断した小児脳腫瘍

情報の管理について責任を有する者又は名称 研究代表者 病理診断科 医師 田中水緒

本研究はヘルシンキ宣言及び人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（2014年12月22日）に従って実施されます。使用する情報・試料は患者さんの個人が特定できる情報とは切り離したうえで使用するため、個人情報外部に漏れることはありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。また、研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、この場合も患者さん個人を特定できることはありません。

本研究は神奈川県立病院がん基金研究助成金により行っており、研究者は企業等から独立して計画を立案し実施いたしますので、本研究の結果および解析等に影響を及ぼすことはありませんし、開示する利益相反もございません。

本研究の対象となる患者さんでご自身やお子さんの情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。その場合も診療において不利益を被ることはございません。

（苦情の受け付けは倫理委員会事務局となります。）

研究責任者 病理診断科 田中水緒

連絡先 地方独立行政法人 神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
病理診断科 田中水緒

倫理委員会事務局（総務課内）

Tel : 045-711-2351 内線 2212